



# きみかめ便り

～千葉県立君津亀山少年自然の家 所報～

## 11月号

おかげさまで「年数の割にはきれいに手入れされているね」とおほめの言葉を頂くきみかめですが、広い所内ですので普段は手入れの行き届かない場所もあります。先日はとある場所の廊下の壁の拭き掃除をしました。高い所のホコリやドアの陰などはどうしても汚れがつきがちです。

高い所から汚れを落とし、壁を磨きながら、子どもの肩が当たるくらいの高さはきれいなことに気づきました。手を触れてしまうからなのかな？寄りかかって歩いてしまうのでしょうか？今回は手あかのような痕跡は少ないので肩が当たるのではないかと予想してみました。

フィールドで生物の痕跡を追うように、施設の様子から子ども達の過ごし方を推察してみるのも面白いかもしれませんね。  
副所長 畑野佳昭



壁がより白く見えると気持ちいいですね～。

### ある日のきみかめ ～利用団体レポート～

平成 27 年 9 月 20 日～22 日

日本ボーイスカウト東京連盟

50 周年記念 団キャンプ

江戸川第 5 団

(宿泊 研修生 41 名 引率 57 名)



ネッカーチーフは仏教の文様



「残すは感謝のみ」

「きみかめに“いやさか”を送ろう！」

創立 50 周年記念の団キャンプでご利用いただきました、江戸川第 5 団 団委員長 田中様に、50 年の歩みと現在についてお伺いしました。(文: 内田)



#### 江戸川第 5 団とその歩みについてお聞かせください。

ひとくちに 50 年と言いますが、それは長い歳月でした。さまざまな苦楽がありました。江戸川第 5 団は昭和 41 年、寺の強化事業として発足しました(今、私たちが付けているネッカーチーフが仏教の文様なのはそれが由です)。

発団時スカウト 23 名、リーダー・団委員 20 名、合計 43 名でした。それが 15 年目の昭和 56 年には、スカウト 203 名、リーダー・団委員 61 名、計 264 名となりました。昭和 56 年、連盟からの指導もあり江戸川 5 団を分封し兄弟団として「江戸川 8 団」を発団させ、育成会は分離せず、毎月 1 回団会議を合同で開く事としました。

平成元年、団設立者で初代の団委員長が逝去。

平成 4 年、「第 5 団」と「第 8 団」は次第に意見が合わなくなり、話し合いの結果第 8 団を解体し、第 5 団に吸収合併しました。

平成 5 年、寺側に様々な都合が発生し、話し合いも決裂したため、寺から離れ地域団として活躍を始め、現在に至ります。

地域団の活動は負担を伴いますので、平成 27 年 4 月時点での団員数は 106 名と減りましたが、今回のキャンプでは 98 名、学校行事や試験を控える人以外は全員揃いました。次の団キャンプは 10 年後です。60 周年に向かってまた心新たに活動していきたいと思えます。

活動した子どもたちは今、中学校の教員や国際線のパイロットになったりと社会人として活躍し、スカウト活動が礎になっていると言います。



#### きみかめで団キャンプをしてみたいか？

50 周年のスローガンは「耀」です。そのとおり、一人ひとりが耀き、伸び伸び活動できました。フィールドはやや狭いところもありますが、施設は申し分ありません。次回はきみかめの森で集作りなどに取り組んでみたいですね。

### アクティビティ PICK UP!!



#### 『グラウンドゴルフ』



暑い夏が過ぎ、日差しが心地よい秋冬におすすしたい野外活動と言え「グラウンドゴルフ」です。グラウンドゴルフを知っていても、実際にプレイしたことのある方は少ないかもしれません。

きみかめの広い芝生を使って、ホールポストに入るまでの打数を競います。シンプルなルールなので小学生から大人の方まで楽しむことができます。コースの設置によっては木の根っこが邪魔したり、イノシシが掘り返した穴にボールが遮られるなど、自然豊かなきみかめならではのフィールドもお楽しみいただけます！

- 対象 小学 3 年生～大人向け
- 人数 15 ～ 72 名 (1 班 6 人まで)
- 時間 1 時間 30 分 ～ 2 時間
- 費用 無料
- 準備物 動きやすい服装と靴、帽子、水筒、虫よけスプレー

(文: 音田)



# お知らせ

## ☆平成 27・28 年度予約

(11月1日より)

① 県内団体：平成28年11月30日迄  
(夏休み期間の予約も受付中!)

県外団体：平成28年7月31日迄

② 日帰り利用：ご利用の3カ月前～1週間前までご予約いただけます。

※県外団体の夏休み期間 7/16-8/30の受付開始日は27年12月1日です。

## ☆先生・引率者のための フォローアップ研修

(体験活動指導者養成事業)

①11/23(月・祝) 10:00～16:00

自然教室で使えるリスクマネジメント入門 参加費：1,300円

アイスブレイクゲームや野外炊飯などの実習を通して、体験学習を経験し、実習を補う内容の講義によって安全管理について理解を深めます。

②H28.2/27(土) 10:00～16:00

自然体験活動指導者のためのサバイバルスキル入門 参加費：1,000円

火おこしや空き缶を使った炊飯、ロープワークを用いたビパーク法(緊急時の野営)など、いざという時に役に立つ知識や技術を、実習を通して学びます。

※チラシダウンロードはこちら!

<http://kimikame.net/news/>

## ☆休所日情報 11月9日(月)

11月24日(火)、11月25日(水)

12月14日(月)、12月29日(火)

12月30日(水)、12月31日(木)

(文：内田)

きみかめから  
片道約25分  
で行ける!

## 近隣団体・フィールド紹介

とでがわ

## ☆養老川支流「戸出川」(大多喜町)

10月号では、30分程で行ける紅葉スポットとして養老渓谷を挙げましたが、今号では、地元や一部の方にしか知られていない養老川上流の支流「戸出川」(とでがわ)をご紹介します。

戸出川は君津大多喜線(国道465号)、清澄養老ライン(県道81号)の交差点である「老川十字路」の角にある「養老渓谷やまびこセンター」(農産物直売・観光案内)の駐車場から見える白壁の脇を流れています。入渓は駐車場より徒歩1分程ですが、三方向が木々に囲まれているため一見わかりにくく地元の方にしか知られていなかった清流です。この夏、千葉日報等プレスで取り上げられたことも手伝って、川遊びにくる人が増えています。

川へ降りて行く道を探し当てたら、大きな川廻しの洞窟が現れます。観光の方はここで帰られますが、川遊びをするならここからです。右下は短い滝で、滝を降りて行くと、さらに50メートルくらいの緩やかな滝になっています(ミニ・シャワーライミングが楽しめます)。その下は大人の腰～胸元程の深さで、装備があれば泳いで遊ぶこともできます。

入渓の時に滝を降りずに上流に進んでいくと、千葉の川特有の美しいなめ床が続きます。概して浅瀬が続きますが極所深いところもあります。魚の群れ、サワガニ、アカハライモリ(準絶滅危惧種)やイノシシやシカの痕跡などを観察しつつ30分も歩くと、2つ目の大きな川洞窟が現れます。2つ目の洞窟の中は大人の腰～胸くらいの水深です。川洞窟の端にはもう一つの小さな迂回洞窟があり、そこからUターンして川洞窟入り口まで戻ることができます。

※川遊びの装備・持ち物： ライフジャケット、ヘルメット、ヘッドランプ又はライト、歩きやすい靴、肌を露出させない服装(特に足元。ケガ防止・ヒル対策)、虫よけスプレー、ビニール袋(防水で使用)、飲み水、ファーストエイド等。(文：内田-大多喜在住)



2つ目の川洞窟にて



滝にて

## スタッフコラム

～ きみかめスタッフがきみかめの魅力を伝えるコーナーです～

●9月下旬きみかめの秋は桜の葉が色づき、キンモクセイの花が満開になると森のキノコ達の出番です。  
橙色のアカヤマドリ、真っ赤なタマゴタケ、桃色のサクラシメジ、黄色のホーキタケ、傘が緑色のアイタケ、傷をつける白い液を出すチチタケ、青色に変わるイロカワリ、樅の木の下には大形のオオモミタケなどなど：オリエンタールイング・ハイキングコースに沿ってキノコが色を競うように顔を出します。今年には長雨が続き湿度・湿度のバランスが良い状態で、キノコにとっては最高の環境でしょう。

山の尾根を歩くと、バカマツタケが以前にはなかった場所にも沢山顔を出していました。バカマツタケは落葉樹、主にコナラの周辺に発生します。(市販されているマツタケは赤松の周辺に発生します。)



秋の恵み♪  
"バカマツタケ"



文：  
細川美代子

十月に入るとシメジ類が発生し、菌輪、そして群生している姿は見事です。中には成長が早く二日から三日でその命が消えてしまうものもあれば、一週間程の姿を楽しめる種類もあります。優秀な食菌ですから、ここに表記したキノコは調理次第でとても美味しく食べられます。写真におさめる事を忘れて先に採取してしまい、いつも後悔している自分がいまですが、翌年の為に20%残し、胞子を飛ばせる環境作りに気を配りつつ感謝の気持ちを持って山を後にします。

## 千葉県立君津島山少年自然の家

所報 平成27年11月

292-0526 君津市笹字片倉1661-1

TEL: 0439-39-2628

FAX: 0439-39-2609

E-mail: [info@kimikame.net](mailto:info@kimikame.net)

HP: <http://www.kimikame.net>

Facebook: <https://www.facebook.com/kimikamesizen>

Twitter: @kimikamesizen

「きみかめ」は千葉自然学校グループが  
県指定管理者として運営しています。

バックナ  
ンバーも  
ご覧いた  
だけます!

